

やまきたまち 議会 だより

議会のおと



山北の木材の魅力を伝える池谷さんご一家
(関連記事は裏表紙に)

P4～7 …令和4年度決算特別委員会
～あの事業はどうだった？～

P13 …… おしゃべりCafe復活

P15 …… **特集** 町民VOICE

～聴かせて あなたの声～



議会ホームページは
こちらから



伝統の観光行事復活へ

一般会計補正予算5億2,924万円増額

◆ 令和5年第3回定例会を9月4日(月)～13日(水)で開催しました。主な議題は令和4年度一般会計・特別会計決算・条例改正・補正予算、専決処分等を審議し、全て原案のとおり認定及び可決しました。

◆ 決算特別委員会を開催しました。(4～7ページに掲載)

◆ 一般質問は6名の議員が登壇しました。(10～12ページに掲載)

主な事業は？

事業	内容	金額
給食事業	中学校給食室コンベクションオープン更新	402万円
保育園維持管理事業	向原保育園西側門扉等の修繕	62万円
観光振興事業	西丹沢もみじ祭り等イベント用備品購入 (観光協会へ助成)	244万円
道路新設改良事業	町道洒水の滝入口線等の改良工事	228万円
財政調整基金積立金	令和6年度当初予算の補てん財源として積み立て	2億円
公共施設整備基金積立金	今後の公共施設の整備として積み立て	1億5000万円

令和5年 第3回定例会

快適な教育環境と

《専決処分》

涼しい部屋で快適に

やまきたこども園のエアコン更新工事の際し、故障した原因と今後の対策は。

修繕対応時は、こどもたちの安全はどう確保されたのか。

こども教育課長 6月末日に不具合発生の連絡を受け、7月中旬に完工した。

その間約2週間、こどもたちは他の部屋へ移動させた。経年劣化による故障が主な原因で、同時期に設置した機種もあるため、今後は当初予算で対応していく必要があると考える。

こどもの安全安心確保のため、リスク管理を図りながらしっかりと対応を図っていききたい。



涼しいお部屋でおいしいごはん

《一般会計補正予算》

老朽設備は計画的な修繕を

保育園費の設備維持管理工事の詳細は。

こども教育課長 向原保育園西側の伸縮型門扉の修繕である。

令和5年の初めに不具合が生じたが、園児が出入りする場所ではないので、当初予算には計上しなかった。

給食費のコンベクションオーブン更新工事の詳細は。

こども教育課長 山北中学校給食室にあるコンベクションオーブンで、焼き物を作る調理器具になる。

令和4年から不具合が多発し、焼きムラやタイマー故障により、調理員が手動調理で対応していた。

いよいよ復活「千人鍋」

観光振興事業244万円の用途は。

商工観光課長 5年ぶりに開催予定の、西丹沢もみじ祭りに利用するテント等の備品購入に対する観光協会への助成である。

なお、これまで会場は中川パーベキューセンターを使用中だったが、今年度から雨天等緊急事態に対応可能な旧三保中学校グラウンドに変更する。

会場変更に関し、駐車場やシャトルバス等、運営における対策は万全か。



新会場での賑わいを再び！

あの事業はどうだった？ 決算審査

令和4年度 一般会計・特別会計・水道事業会計歳出決算額 101億9753万円

令和4年度の一般会計及び各特別会計・水道事業会計について、9月8日、11日の決算特別委員会（遠藤和秀委員長）で審議した。主な質疑は以下のとおり。



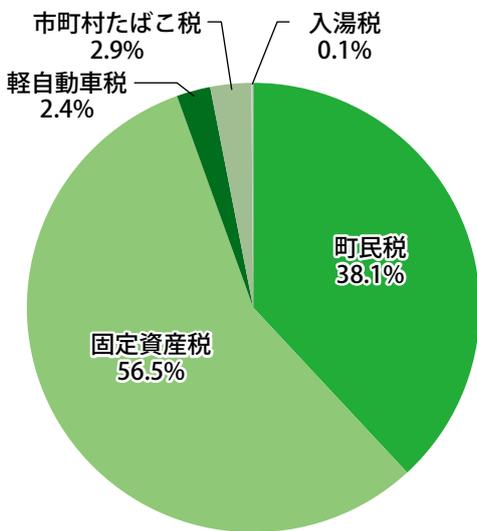
遠藤和秀委員長

《一般会計》

町税の安定徴収に向けて

町税の（※1）収入未済額に対する今後の取組みは、また、（※2）不納欠損額の減少要因は。

（※1）収入未済額とは5月末までに納付されなかった金額のこと。
（※2）不納欠損額とは滞納分の徴収金が徴収できなくなり、消滅した金額のこと。



【令和4年度 町税内訳】

町民税務課長 収入未済額は例年並みで変化が見られない。今後も金額が少ないうちに速やかに納めていただけのように粘り強く交渉していく。

不納欠損額は、令和3年度に県の短期派遣職員が、対象案件を整理した関係で令和4年度の金額が抑えられた。

デジタル社会への取組み

地方創生推進交付金の使途とデジタル化（DX推進）に向けた今後の取組みは。

商工観光課長 国から60万円の交付を受け、洒水の滝PR事業として、ドローン動画撮影などに利用した。

企画総務課長 今後、DX推進に向け、国や県などから専門的知識を有する人材の支援を受けながら取り組んでいきたい。

行政ホームページ推進事業は、町の情報発信向上のため、積極的に推進していくべきです。

地域防災課長 使いがらみとの声も聞くため、修正や工夫を凝らしている。現行システム導入から10年が経過するので、今後リニューアルも検討していく。

ヤマビル対策 大丈夫か

野生動物等保護管理事業の内、ヤマビルやマダニ対策等の現状と今後の対策は。

環境課長 令和4年度は岸地区を除くエリアでヤマビルの生息を確認した。駆除剤を購入し、これまで16自治会に配布をしている。

また、マダニについては現在特に対策は取っていないが、大野山などに多く分布している報告もある。今後、関係機関とも情報共有を図りながら対応を検討していく。



駆除剤配布でヤマビル撃退！



(仮称) 山北スマートIC
新たな玄関口を拠点に明るい将来を

町の将来計画を明確に

総合計画策定事業の令和4年度の実績と現在までの進捗状況は。

生活交通対策事業では、地域公共交通の将来計画を具体的に示すべきでは。

企画総務課長 令和6年度から10年間の町の計画を第6次総合計画として、令和4年度と5年度の2か年で策定している。
策定にあたり、町民アンケートや外部委員による会議等で進めている段階で、今後必要に応じてホームページ等で公開をしていく。

企画総務課長 令和4年度に外部委員を含めた地域公共交通会議を発足し、将来の公共交通について検討している。
今後、DXの活用や近隣町との広域交通等も視野に検討を進めていきたい。

脱炭素社会に向けて

地球温暖化防止対策推進事業の取組み状況は。

環境課長 地球温暖化対策実行計画で役場等から排出されるCO₂削減に取り組んでおり、令和4年度は1060トンの目標に対し990トンの排出があった。

再生可能エネルギー導入に向けた具体的な計画は。

環境課長 再生可能エネルギーは、庁内の検討会議において導入の可能性を協議している。
太陽光発電に特化することなく、山北町に最適な再生可能エネルギーを考えていきたい。

広がる公園整備

そしてD52軌道延伸へ

D52軌道延伸計画の今後の予定は。

都市整備課長 ふるさと納税の収入状況にもよるが、令和6年度には後方延伸を進めていきたい。

鉄道公園や平山のびのび公園などの遊具移設に伴い、町民や利用者の反応は。
また、公園内に日除け設備がない。今後改良の予定は。

都市整備課長 直接町民の声は聞いていないが、小さな子どもたちの利用は増えたと感じる。
また、ここで丸山公園には日除けも新設した。今後利用者たちの声を聞きながら検討していきたい。



新たな遊具設置でみんなで楽しく遊びましょう

スポーツ広場の 利用拡大へ

スポーツ広場使用料の内訳は、コロナ禍で利用状況等に変更はあったか。

生涯学習課長 町内団体の使用は無料、町外団体はナイター使用料のみ徴収している。

コロナ禍で町外団体利用が増え、町内団体の予約が取りづらい状況になった。今後、町外団体は日中の使用料を徴収するなど、見直しも検討したい。

移住・定住促進に向けて

お試し住宅活用事業の実績と今後の展開は。

定住対策課長 令和4年度は年間で40週利用、稼働率76・9%だったが、利用後の移住につながった実績は令和4年度はなかった。

今後も移住セミナーなど、PRに努めながら関係人口を増やし、定住に繋げていきたいと考えている。

「みずかみテラス」が完成し1年が経過した。入居者の反応や地域コミュニティをどう考えているか。

定住対策課長 25戸の住宅に対し、令和4年度は満室となっており、21世帯46名の方が町外から入居した。

完成後は入居者を集めたバーベキューやビンゴ大会、流しそうめんなどを実施し、新しい地域コミュニティが生まれてきたと考えている。



みずかみテラスでBBQ
地域コミュニティの充実を

放課後も安心して 過ごせる環境を

放課後児童クラブ事業は、民間委託後の運営に関して、どのような変化があったか。



民間ノウハウ活用で更なる充実を

こども教育課長 委託事業者は他の市町村でも実績豊富な専門知識を備えた会社である。

ミーティングや研修、オンライン交流会や外部講師を招いた折り紙教室なども開催した。

今後も多方面から協力を仰ぎ、児童に通って楽しかったと思える施策を講じていきたい。

検定補助で 学力向上へ

令和4年度から中学生への英語検定料補助を開始したが、実績と今後の学力向上への取り組みは。

こども教育課長 山北中学校生徒30名に対して補助をした。令和5年度は、小學校児童まで対象を拡大した。今後は、その他の検定についてもニーズを踏まえながら検討していきたい。



Let's enjoy English !



「パパママクラス」で子育ての不安も解消
産前産後ケアの充実を

妊産婦にやさしい環境整備を

令和4年度から始
まった産後ケアの実績
と今後の展開は。

保険健康課長 訪問型が2

名、日帰り型が15名で健康
福祉センターでの母乳相談
等で複数回利用されている。

今後も保健師からの問い
かけを継続していく。

根本的な問題として

足柄上地区に産科医療
機関がない。

町の考えは。

保険健康課長 上郡5町と

しても、毎年県に要望をし
ているが、県の考えは小田
原市立病院を利用してほし
いとの回答である。

今後も粘り強く要望をし
ていく。

山北高校とは積極的な関わりを

山北高校地域協働学
習推進事業助成金90万
円の用途は。

子ども教育課長 これまで

は文科省指定校として、3
年間国の補助金を活用し地
域探究活動をしてきた。

令和4年度からは補助事
業の終了に伴い、町から探
究活動に対する補助を行っ
ている。

町と山北高校の関わ
りをどう考えているか。

教育長 地域探究活動は国

が進めている学習でもあり、
県内でも山北高校はモデル
校として注目されている。

今後、町としても山北高
校を応援しながら連携を
図っていきたい。



探究活動で町の新たな魅力を再発見

主にフィールドワーク時
のバス代等に利用している。

《特別会計》

厳しい財政運営 課題解決に向けて

国民健康保険事業で
は、令和4年度の繰越
金がわずか36万円しか
確保できなかった。

今後の財政運営につ
いてどう考えているか。

下水道事業における
現在の接続状況と今後
の課題は。

上下水道課長 下水道整備
区域内の接続率は90%と
なっている。

保険健康課長 令和3年度
はコロナによる受診控えの
結果、医療費がかからず
840万円を基金へ積み立
てることができたが、1年
で取り崩すことになった。

令和4年度に下水道使用
料の料金改定をしたが、酒
匂川流域下水道負担金増や
令和6年度から始まる企業
会計への移行など、今後は
不透明な状況である。

国保財政は極めて厳し
く、令和6年度から国保税
の改定をせざるを得ない状
況である。



議案等審議の結果

第3回 定例会（9月4日～13日）

件名	審議結果	件名	審議結果
令和4年度一般会計歳入歳出決算認定 ・歳入決算額は66億3569万円、歳出決算額は64億3028万円となり、翌年度に繰越すべき財源を含め、歳入歳出差引2億541万円の剰余金が生じた	認定	令和4年度商品券特別会計歳入歳出決算認定 ・歳入決算額2億4407万円、歳出決算額2億4037万円で、歳入歳出差引370万円の剰余金が生じた	認定
令和4年度国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算認定 ・歳入決算額13億4168万円、歳出決算額13億4132万円で歳入歳出差引36万円の剰余金が生じた	認定	令和4年度水道事業会計利益の処分及び決算の認定 ・収益的収益は総額1億8738万円、支出総額は1億7622万円で、損益計算は1116万円の純利益が生じた。資本金収入は1258万円、支出総額は6227万円で、4969万円の不足が生じ、当年度分消費税及び地方消費税の資本金の収支調整額等で補てんした	可決・認定
令和4年度後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定 ・歳入決算額2億354万円、歳出決算額2億295万円で歳入歳出差引58万円の剰余金を生じた	認定	印鑑条例の一部を改正する条例 ・電子署名等に係る地方公共団体情報システム機構の認証業務に関する法律の一部改正に伴い、改正するもの	可決
令和4年度下水道事業特別会計歳入歳出決算認定 ・歳入決算額4億253万円、歳出決算額3億8420万円で、歳入歳出差引1834万円の剰余金が生じた	認定	令和5年度一般会計補正予算(第6号) ・歳入の主なものは、普通交付税の確定による地方交付税の増額であり、歳出の主なものは、自治会要望等に対応するための経費の増額で、歳入歳出それぞれ5億2924万円を増額し、予算の総額を58億5123万円とする	可決
令和4年度町設置型浄化槽事業特別会計歳入歳出決算認定 ・歳入決算額2128万円、歳出決算額853万円で、歳入歳出差引1275万円の剰余金が生じた	認定	令和5年度国民健康保険事業特別会計予算(第1号) ・主に出産育児一時金の増額と前年度繰越金の確定であり、歳入歳出それぞれ278万円を増額し、予算の総額を14億3018万円とする	可決
令和4年度山北財産区特別会計歳入歳出決算認定 ・歳入決算額680万円、歳出決算額488万円で、歳入歳出差引193万円の剰余金が生じた	認定	令和5年度後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号) ・主に前年度繰越金の確定であり、歳入歳出それぞれ59万円を増額し、予算の総額を2億108万円とする	可決
令和4年度共和財産区特別会計歳入歳出決算認定 ・歳入決算額8054万円、歳出決算額7197万円で、歳入歳出差引857万円の剰余金が生じた	認定	令和5年度下水道事業特別会計補正予算(第1号) ・歳入の主なものは、前年度繰越金の確定であり、歳出の主なものは、下水道整備工事の追加で、歳入歳出2044万円を増額し、予算の総額を4億3976万円とする	可決
令和4年度三保財産区特別会計歳入歳出決算認定 ・歳入決算額645万円、歳出決算額521万円で歳入歳出差引124万円の剰余金が生じた	認定	令和5年度町設置型浄化槽事業特別会計補正予算(第1号) ・前年度繰越金の確定であり、歳入歳出それぞれ304万円を減額し、予算の総額を4543万円とする	可決
令和4年度介護保険事業特別会計歳入歳出決算認定 ・歳入決算額12億8142万円、歳出決算額12億5670万円で、歳入歳出差引2471万円の剰余金が生じた	認定	令和5年度山北財産区特別会計補正予算(第1号) ・前年度繰越金の確定であり、歳入歳出それぞれ34万円を増額し、予算の総額を585万円とする	可決

件名	審議結果	件名	審議結果
令和5年度共和財産区特別会計補正予算(第1号) ・前年度繰越金の確定であり、歳入歳出それぞれ494万円を増額し、予算の総額を4739万円とする	可決	山北財産区管理会委員の選任 ・委員の任期満了に伴い、選任するもの 「瀬戸成美」氏・「石川喜英」氏・「鈴木雄三」氏・「原博志」氏・「野地晴彦」氏・「高杉光男」氏・「瀬戸雅弘」氏	同意
令和5年度三保財産区特別会計補正予算(第1号) ・歳入の主なものは、基金繰入金の増額であり、歳出の主なものは、財産区有林整備工事の追加で、歳入歳出それぞれ136万円を増額し、予算の総額を716万円とする	可決	共和財産区管理会委員の選任 ・委員の任期満了に伴い、選任するもの 「岩本雄二」氏・「井上基仁」氏・「大野博世」氏・「江上 徹」氏・「濱田登志郎」氏・「岩本宣夫」氏・「小澤 功」氏	同意
令和5年度介護保険事業特別会計補正予算(第1号) ・主に前年度繰越金の確定であり、歳入歳出それぞれ3425万円を増額し、予算の総額を13億1516万円とする	可決	三保財産区管理会委員の選任 ・委員の任期満了に伴い、選任するもの 「佐藤光重」氏・「高橋義雄」氏・「児玉洋一」氏・「豊田里己」氏・「稲葉一夫」氏・「三尋木延幸」氏・「磯田正光」氏	同意
令和5年度商品券特別会計補正予算(第1号) ・前年度繰越金の確定であり、歳入歳出それぞれ98万円を増額し、予算の総額を920万円とする	可決	専決処分の承認(令和5年度一般会計補正予算(第5号)) ・認定こども園においてエアコン交換工事を早急に実施する必要があったため	承認
教育委員会委員の任命 ・委員の任期満了に伴い、任命するもの 「佐藤直美」氏	同意	令和4年度山北町の健全化判断比率及び資金不足比率の報告 ・健全化判断比率及び資金不足比率を報告するもの	報告のみ



富田 陽子
福祉教育常任委員長



大野 徹也
総務環境常任委員長

常任委員長に聞く

私はここに注目しました!

9月定例会を振り返って

「町の将来を見据えて」

福祉教育常任委員として、今回の決算審議はこんなところに着目しました!!

- 昨年完成した「みずかみテラス」の入居・コミュニティの現状
- 昨年からはまった山中生への英語検定受験料補助の効果
- 第6次総合計画の策定進捗状況

「一般質問できず…」

流行りの感染症のため、定例会前半を欠席してしまいました。用意していた一般質問はできませんでしたが、こんなことを聞きたかった!!

- 地域特性として町域の大部分が山岳地帯という地理的要因で、激甚災害への防災・減災対策
- 今年で発生から100年となる関東大震災などの大地震に備えた、新たな地域防災計画の推進

答 令和5年度は、全額補助した。
令和6年度以降は、その財源を考慮し、一部補助等を含め実施に向けて検討していく。

Q 小中学校給食費無償化に向けての取り組み状況は。

問 1. 小中学校給食費無償化へ
2. ごみ処理の広域化に向けて

答 1. 補助等を含め実施に向けて検討する
2. 令和11年度中の完成を目指す

答 「社会の中で他者とよりよく関わりながら自分らしく生きることができる人間力と社会力の育成」を目指し取り組みを進めている。
今後、取り組みをさらに深化させ、切れ目のない、より質の高い教育・保育と子どもたちへ支援ができるよう、園・学校・家庭・地域が一体となって充実を図っていく。

Q 0歳から15歳までの一貫教育・保育の現状は。



Q 1市5町で進めている広域ごみ焼却場の建設に向けた進捗状況は。

答 広報やまきたや町HP等で町全体への情報発信を行っている。
また、実施主体や焼却施設を集約した後の跡地利用や不燃ごみ、資源ごみ等の取り扱いなども併せて検討している。



動画はこちら

答 地域包括支援センターで、専門資格を有する職員を3名配置し、日々の介護保険制度に関する相談を受けている。
また、民生委員児童委員や一般住民向けにも「出前講座」を実施している。

Q 介護保険制度の「知る機会」や「わからないに答える体制」の相談窓口は整っているか。

問 自分らしくいきいきと活躍できるまちづくりの創出を

答 地域共生社会の実現を目指す

答 比較的元気な高齢者自らが介護予防も含めて「支え手」となることが望まれている。シルバー人材センターへの助成や介護予防教室のお手伝い、近隣住民によるごみ出し支援も行っている。
最近では谷ヶ地区にて月1回のペースで地域住民自ら運営する「通いの場」にレクリエーションメニューの提案や人的支援を行っている。

Q 今後の介護職人材不足をどのような政策で補い町民のニーズに添えていくのか。



Q 若者や女性の起業、新しい挑戦を支援するなど、行政ができる人材育成などの施策はあるか。

答 「起業」や「新しい挑戦」に対する支援については、経営を成り立たせていくための町の状況やニーズなどの情報提供は十分に支援できるものと考えている。



動画はこちら

答 循環バスは、山北向原、岸地区の幹線道路を循環して運行している。どこを起点にしても新たなメリットは発生しない。

Q 東北北駅周辺の商業施設では、循環バスの利用者の乗降が多い。日中の時間帯において商業施設を起点としたダイヤ編成をしてみてはどうか。

答 町では、この跡地を利用する予定はないが、県がどのようにに活用するか注視していく。県は予算が確保でき次第解体撤去し、以降県での利用予定は未定と聞いている。

Q 山北駅前交番跡地の利用計画はあるのか。

Q 新山北体育施設は、山北駅北側のランドマークにすべきと考える。その上で、施設の活用方法が重要と考えるがいかがか。

答 子どもから高齢者まで幅広い年代に親しまれ、町民一人ひとりが「よりよく生きる」、まさに「ウェルネスを創造」という幅広い目的に合う施設になるよう取り組んでいく。山北駅前には、レトロな街並みを生かしたイベントなどを検討していく。

問 1. 商業施設を起点とした循環バス運行を
2. 旧駅前交番、新体育館施設の活用を

答 1. 現状の山北駅が適当と考える
2. レトロな町並みを生かしたイベントを検討する



3番 瀬戸 伸二 議員



動画はこちら

問 1. 丹沢湖周辺地域の地域振興は
2. 町設置型浄化槽会計の将来は

答 1. 地域振興策を検討する
2. 最善策を検討する



11番 児玉 洋一 議員



動画はこちら

Q 丹沢湖周辺の遊休地活用をどう考えているのか。

答 閉園後の三保幼稚園や旧丹沢湖ビジターセンター・旧ハイツ&ヴィラ等の跡地利用は、現時点で具体的な計画はない。今後、地域振興が図れるよう、地元住民の声を聞きながら第6次総合計画に位置付けていきたい。

Q 地域振興計画には外部有識者を交えた協議会組織を立ち上げてはどうか。

答 現時点では、協議会組織等の発足は考えていない。まずは、庁舎内で地域振興策を検討する。

答 これまで県の補助金を財源に維持管理費を充当してきたが、令和4年度から補助ができないと回答があった。払い下げはひとつの案であり、まずは県への要望を継続しながら、最善策を検討する。

Q 町からの補助を考えるべきでは。

答 維持管理区分を精査し、一部を町負担で補うなど、利用者の声を踏まえたうえで具体策を決定していく。

Q 町設置型浄化槽の維持管理費は町負担だったはずだが、今後個人へ払い下げ、自己負担とする旨のアンケートがあった。話が違うのでは。

Q ナラ枯れ伐倒を早く進めるべきと考えるがいかか。

答 令和4年度は6本のナラ枯れを伐倒した。令和5年度は予算を組み替え、公共施設、町道沿いのナラ枯れを20〜30本伐倒して行く予定。
個人、民地については3分の1を補助し、上限10万円とする。

Q ナラ枯れ伐倒を早く進めるべきと考えるがいかか。

答 令和4年度は6本のナラ枯れを伐倒した。令和5年度は予算を組み替え、公共施設、町道沿いのナラ枯れを20〜30本伐倒して行く予定。
個人、民地については3分の1を補助し、上限10万円とする。

問 災害を未然に防ぐためには

答 地域住民、事業者と更なる連携を図って行く



昨年度の大野山火事

Q 事業者との災害時における連携はどうなっているか。

答 それぞれの事業者など部分的なものとは結んでいない。自治体と違い応援種別に違いがあるが協定を結ぶよう進めていきたい。

Q 事業者との災害時における連携はどうなっているか。

答 それぞれの事業者など部分的なものとは結んでいない。自治体と違い応援種別に違いがあるが協定を結ぶよう進めていきたい。



Q 大野山山頂付近に水利確保が必要であると考えるがどうか。

答 雨水を利用できないかと考えている。現状では、山頂で受水槽を管理している。畜産事業者にご協力いただき、水利として利用できることとなった。

Q 大野山山頂付近に水利確保が必要であると考えるがどうか。

答 雨水を利用できないかと考えている。現状では、山頂で受水槽を管理している。畜産事業者にご協力いただき、水利として利用できることとなった。



町道のナラ枯れ倒木



動画はこちら

問 聴覚障がい者に寄り添う社会を

答 近隣自治体と調整し6年度から見直していく

Q 聴覚障がい者の緊急通報システムの進捗状況は。

答 現在町ではシステムの導入に向けて調整中である。
小田原市は、役場開庁時間外において119番通報時に消防本部から手話通訳者を直接派遣するシステムができています。
足柄上地区として年度内に導入予定である。

Q 聴覚障がい者の緊急通報システムの進捗状況は。

答 現在町ではシステムの導入に向けて調整中である。
小田原市は、役場開庁時間外において119番通報時に消防本部から手話通訳者を直接派遣するシステムができています。
足柄上地区として年度内に導入予定である。

Q 手話通訳者は、月1回以上の研修を受ける等、技術の向上が図られている。

答 6年度より、専門職に見合った報酬額に1市5町で揃えられるよう見直していく。

Q 手話通訳者は、月1回以上の研修を受ける等、技術の向上が図られている。

答 6年度より、専門職に見合った報酬額に1市5町で揃えられるよう見直していく。



Q 手話通訳者の派遣の範囲が限定されている。安心して生活が出来るよう派遣の範囲を見直しては。

答 近隣自治体の設置状況やニーズを踏まえ、6年度より適切な配置を検討していく。

Q 手話通訳者の派遣の範囲が限定されている。安心して生活が出来るよう派遣の範囲を見直しては。

答 近隣自治体の設置状況やニーズを踏まえ、6年度より適切な配置を検討していく。

Q 県内では半数以上の自治体で手話通訳者が役場窓口を設置されている。

答 筆談で対応している。当町も設置しては。

Q 県内では半数以上の自治体で手話通訳者が役場窓口を設置されている。

答 筆談で対応している。当町も設置しては。



動画はこちら

8/20 山北駅前 Cafe NICO

- ◆町の防災監などを講師に、生涯学習センターを利用し、各自治会や町民向けに防災講演などがあると防災意識の向上につながるのでは。
- ◆自治会要望の回答を役場の御用聞きスペースなどに張り出してはどうか。特に継続案件などはいつから継続なのか、いつ実施してもらえるのか。
- ◆洒水の滝に行く歩道脇にカラーコーンがあつて景観が悪い。もっと観光地らしくお客様を迎えられるように入力から整備した方がいい。
- ◆デジタル社会・電気自動車・ドローンなどを駆使した防災・物流などへの展開を。DXやドローン操縦などは、中学生から部活動などで教育を図っては。
- ◆山北駅前の再開発の取組み状況は。地元を集めた集会すらしてくれない。
- ◆自治会・祭り行事など次世代継承の難しさをヒシヒシと感じる。

やまきた町議会 おしゃべり Cafe

新体制となった議会では初となる「おしゃべりカフェ」を再開しました。

当日は猛暑の中、閉店時間をオーバーするほど町の将来に向けた文字どおり『熱い』ご意見を伺いました。



※当日の様子など記載したおしゃべり Cafe 通信はホームページでご覧いただけます。

》 研修会レポート

令和5年度町村議会広報クリニック

令和5年8月25日(金) 13:00～

全国町村議員会館

講師：議会広報サポーター 芳野 政明氏



「町民の信頼を得るために」

講義は「住民に読まれる、伝わり 議会の見える化へ」議会広報の基本と編集でした。

編集作業の基本として、写真やキャプションの活用術、QRコード、見出しの重要性、書体フォントや目を引く見出し、ラフレイアウトなど、編集作業のイロハを学ぶことができました。

そして、広報紙づくりは住民に活動を見せるのはもちろん、住民が議会をどう見て、どう評価しているのか、議会が身近な存在として「信頼」を得るための成果と周知を行っているかなど、自治意識の醸成のためには「情報なくして広報なし」ということを改めて実感しました。

新メンバーでは2回目の広報紙です。これからも少しずつスキルアップに努めながら、町民が手に取り、伝わる広報紙面づくりに尽力してまいります。

(記) 高橋 純子

No.214議会のおと 広報モニターアンケート

12名の議会広報モニターの皆様から、前号のアンケートに回答していただきました。毎回沢山のご意見、ご指摘やアイデアをいただき、すぐ取り入れられるものは早速編集に活かしております。すべてのご意見を載せられず残念ですが、一部をご紹介します。

“みんなの声で 議会のおとが もっと身近に”

多様な声がつくる議会だより

モニターの方の声を聴き、住民が何に興味があるのか、何を求めているのか、議会だよりを活かし、より住みよい町にしていきたいと考えています。

～表紙・裏表紙～

今 回からのテーマ選
定が斬新でよい。
しくなりました
ね。家族を取り上
げるのも新しいし、デ
ザインも新しくなって
リニューアル感がよく
出ている。
家 族をテーマにする
ことと、「議会を
身近に感じる」の関連
性が不明すぎる。



～議員紹介のページ～

お もしろい。
表 情も楽しかった！
全 員の議員さんの活動方
針が明確に打ち出され、
意気込みが感じられた。「議会
と町民との距離をより身近に
感じてもらう」点で大変有意
義です。
町 の顔である議員と町民
の皆様が、お互いに親
密感を持つことは町にとって
大切なことと思う。

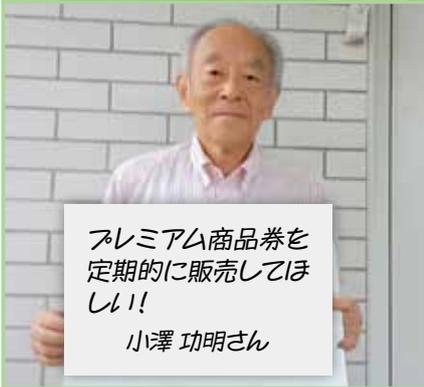
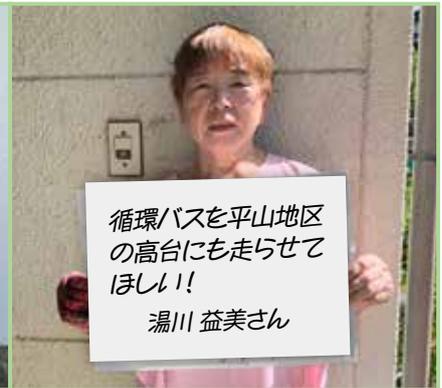


←これがQRコード
スマホのカメラで読み取ると
紙面等を見ることができます。
※全集計結果はホームページ
に掲載しています。

～その他ご意見～

う まく構成されている。モニターアン
ケートが形だけでなく、ちゃんと
参考にしていただいているのがよく判る。
また紹介されているそれぞれの意見が興
味深い。
今 回は12ページと大幅に縮小され、各
内容も簡潔にまとめられて非常に
見やすく、親しみのある身近な冊子に生
まれ変わった。
意 見を書いても、議会だよりに乗って
も、回答がなければやる気にならな
い。表紙を変えても中身は変わらない。

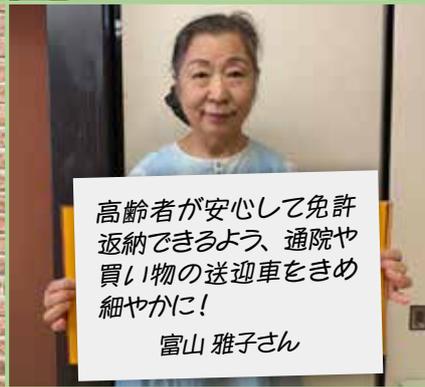
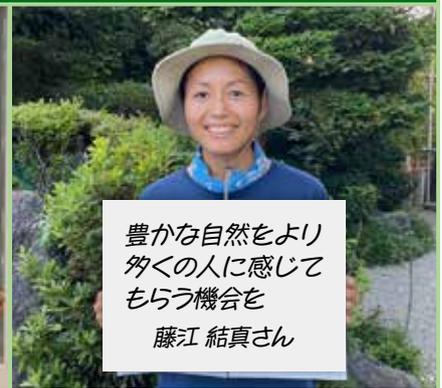




聴かせてあなたの声

町民VOICE

【テーマ】山北町にのぞむこと



活きいきひろば

木の魅力を広く深く、

多くの方へ

向原地区在住 池谷 賢さん



山北町を拠点に木工品メーカーとして株式会社を設立し4年が経とうとしています。

約10年前に妻の地元である山北町に移住し、家族と共に自然豊かなこの素敵な町でアウトドアやスポーツを楽しみながら生活しています。

私は商工会青年部に所属し、地元事業者と共に町の発展に取り組みながら町の魅力を感じ、町との絆を深めています。

今後は山北町の木も活用し、自然保護や町への貢献、そして山北町の魅力を日本のみならず世界へ発信していきます。

未来の子どもたちが山北町出身であることを誇りに思えるように、山北町のみならず豊かな自然を守り、子どもたちの笑顔あふれる町づくりを楽しみながらやり続けます。

表紙テーマ

議会をより身近に感じてもらえるように、アフターコロナを生き抜く町内事業者や様々な活動をされている方の家族写真を表紙のテーマとしています。



議会の傍聴においでください

第4回定例会(予定)

12月5日(火)~

庁舎内テレビでも放映しています

お問い合わせ
議会事務局

75-3653

町議会

YouTubeチャンネル

一般質問などの動画を配信していますので、チャンネル登録をお願いします



富田	高橋	和田	池谷	児玉
陽子	純子	成功	仁宏	洋一

編集メンバー

編集委員のつぶやき



食欲の秋、栗を食べる手が止まりません。現在私は第2子を授かり、来年1月初旬に出産予定です。議会運営委員会を中心に出産後の環境整備を進めており、今後議員になる方が妊娠出産しても働きやすい議会になるよう色々進めていきたいです。

11月後半から産休に入り(令和2年度に会議規則で産前7週、産後8週間の産休の規定が定められた)、議会をしばらくお休みしますが、元気な赤ちゃんと共に皆さまにお会いできたらと思います。

(記) 富田 陽子